

感染症と登園基準について

厚生労働省の保育所における感染症対策ガイドラインでは、「乳幼児が長時間にわたり集団で生活する保育所では、一人一人の子どもの健康と安全の確保だけでなく、集団全体の健康と安全を確保しなければなりません」と示されています。当園では感染症の広がりを防ぐためアルコールや次亜塩酸ナトリウムによる消毒や除菌、手洗いうがいを徹底しております。子どもの体調不良時には無理をさせずに自宅療養をお願いします。

(1) 発熱の場合

登園を控えるのが望ましい	保育が可能	保護者への連絡
発熱期間と同日の回復期間が必要 <ul style="list-style-type: none"> 朝から37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。 食欲がなく朝食、水分が摂れていない。 24時間以内に解熱剤を使用している。 24時間以内に38℃以上の熱が出ていた。 	前日38℃を超える熱が出ていない <ul style="list-style-type: none"> 熱が37.5℃以下で元気があり、機嫌がよく顔色がよい。 食事や水分が摂れている。 発熱を伴う発しんが出ていない。 咳や鼻水を認めるが、増悪していない。 	38℃以上の発熱がある（園では37.5℃以上で連絡します） <ul style="list-style-type: none"> 元気がなく機嫌が悪い。 咳で眠れず目覚める。 食欲なく水分がとれない。 ※熱性けいれんの既往児は医師の指示に従う。

(2) 下痢の場合

登園を控えるのが望ましい	保育が可能	保護者への連絡
<ul style="list-style-type: none"> 24時間以内に水様便がある。 食事や水分を摂ると下痢がある。 機嫌が悪く元気がない。 顔色が悪くぐったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染のおそれがないと診断されたとき。 24時間以内に水様便がない。 食事や水分を摂っても下痢がない。 発熱が伴わない。 排尿がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事や水分を摂ると刺激で下痢をする。 腹痛を伴う下痢がある。 水様便がみられる。

(3) 嘔吐の場合

登園を控えるのが望ましい	保育が可能	保護者への連絡
<ul style="list-style-type: none"> 24時間以内に嘔吐がある。 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。 食欲がなく水分もほしがらない。 機嫌が悪く元気がない。 顔色が悪くぐったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染のおそれがないと診断されたとき。 24時間以内に嘔吐がない。 発熱がみられない。 水分摂取ができ食欲がある。 機嫌がよく元気である。 顔色が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 咳を伴わない嘔吐がある。 元気がなく機嫌、顔色が悪い。 嘔吐があり水を飲んでも吐く。 吐き気がとまらない。 お腹を痛がる。 下痢を伴う

与薬と予防接種後の登園について

与薬について

保育園では、本来与薬をすることは好ましくないとされています。(日本保育保健協議会)やむを得ず、薬をもたせる場合は以下の事項を必ず守って下さい。

- 1、医療機関からの処方であること
- 2、「与薬連絡票」に記入し、薬と一緒に職員に当日分を手渡して下さい。
- 3、座薬の使用は原則行いません。やむを得ずの場合は医師からの指示書を添付して下さい。※初めての使用する座薬は対応できません！
- 4、医療機関に保育園に通っていることを医師に伝えてください。

予防接種後の登園について

予防接種後の副反応を考慮して、接種後の登園は控えるようにして下さい。

別表（登園基準）

病名	感染しやすい期間	登園の目安
第1種 エボラ出血熱、他		治癒するまで
第2種 インフルエンザ	症状がある期間(発症前24時間から発症後3日程度までが強い)	発症後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで
百日咳	抗菌薬を使用しない場合、咳の出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること(抗菌薬を決められた期間服用する。7日間服用後は医師の指示に従う。)
はしか(麻疹)	発しん出現の前7日間から後7日間ほど	解熱後3日を経過してから
おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)	発症3日前から耳下腺腫脹後(耳の後ろから顎にかけての腫れ)	耳下腺の腫れが消失してから
三日はしか(風疹)	発しん出現の前7日間から後7日間くら	発しん(ぶつぶつ)が消失してから
水ぼうそう(水痘)	発しん出現1~2日前から痂皮(かさぶた)形成まで	すべての発しんがかさぶたになってから
プール熱(咽頭結膜炎) 【原因:アデノウイルス】	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え、2日してから
結核、髄膜炎菌性髄膜炎		感染のおそれがなくなってから
第3種 流行性角結膜炎 【原因:アデノウイルス】	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失してから
腸管出血性大腸菌感染症 O157、O26、O111		症状が始まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌がないと確認されたもの

別表 2 (登園基準)

病名	主な症状	登園の目安
その他の感染症 流行性角結膜炎 【原因：アデノウイルス】	目の充血や目やに	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失してから
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳がおさまっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱（みずぶくれ）・潰瘍（ただれ）が発症した数日間	発熱や口腔内の影響がなく、普段の食事がとれること
リンゴ病 (伝染性紅斑)	発しん（ぶつぶつ）出現前の 1 週間	全身状態がよいこと
ウイルス性胃腸炎 A、D、E、ノ	症状のある間と症状消失後 1 週間（数週間ウイルスが便の中に含まれているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状がおさまり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	発熱等症状が出てから数日間（便の中に 1 カ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱（水ぶくれ）・潰瘍（ただれ）の影響がなく、普段の食事がとれること
RS ウイルス ヒトメタニューモウイルス	呼吸器症状（ヒューヒューという呼吸音、咳、痰）	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと
帯状疱疹	水疱（水ぶくれ）を形成している間	すべての発しんが痂皮化（かさぶた）してから
とびひ (伝染性膿痂疹皮膚化膿症)		水疱（水ぶくれ）、びらん（ただれ）から膿が出ている間・水疱（みずぶくれ）・びらん（ただれ）面をガーゼ等で保護できること・水疱（水ぶくれ）・びらん（ただれ）面が乾燥し、膿などが出ていないこと
突発性発しん		解熱し、機嫌がよく、体調がよいこと
コロナウイルス感染症		